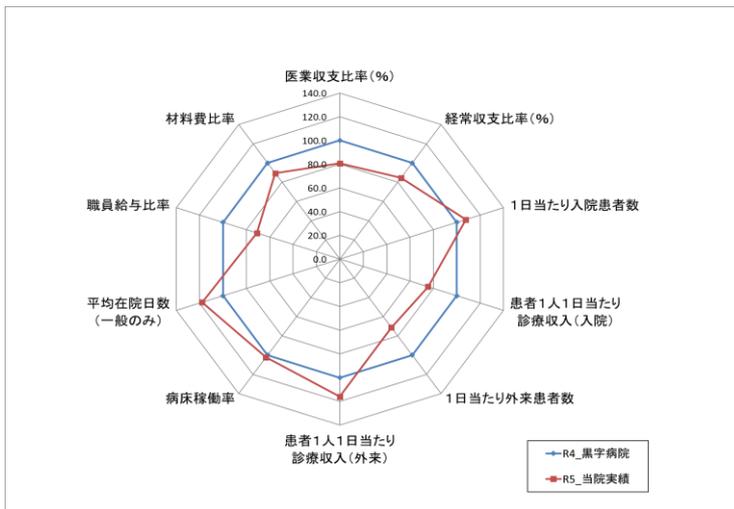




2) 令和5年度 経営分析



左の表は、令和4年度の総務省実施の決算統計において、決算統計対象病院865病院中の医業利益がある105病院平均を100とした場合を青の点線で示しており、令和5年度の当院がどの位置にあるかを示している。

10項目中4項目は平均を上回っている。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したものの、上半期に一病棟(37床)を感染専用病棟と運用していたことと新病院移転・患者移送のために計画的に患者数を減少させたこと、物価上昇による経費増加、新病院開院に伴う大幅な費用増大により、医業収支比率及び経常収支比率は、昨年度と比較すると、減少している。

今後も、入院・外来の患者数、1人1日当たり診療収入(入院)を注視しながらさらに健全な病院経営の実践を行ってまいります。

区分		R4		R5
		当院実績	黒字病院	当院実績
1	医業収支比率 (%) 医業費用に対する医業収益の比率を示す指標で、営業活動に対する収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。	93.1	107.7	86.9
2	経常収支比率 (%) 特別損益を除いた経常費用に対する経常収益の比率を示す指標で、経常的な収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。	105.3	105.8	89.5
3	1日当たり入院患者数(274床換算) 年間延べ入院患者数を入院営業日数で除した人数で、入院患者数を分析する上で最も基本的な指標です。	194.3	185.0	199.1
4	患者1人1日当たり診療収入(入院) 入院収益を年間延べ患者数で除して算出した金額で、入院収入を分析する上で最も基本的な指標です。	56,217	73,583	55,485
5	1日当たり外来患者数(274床換算) 年間延べ外来患者数を外来営業日数で除した人数で、外来患者数を分析する上で最も基本的な指標です。	344.5	458.1	326.1
6	患者1人1日当たり診療収入(外来) 外来収益を年間延べ患者数で除して算出した金額で、外来収入を分析する上で最も基本的な指標です。	21,724	20,733	24,025
7	病床稼働率 病床274床に対する入院患者数の比率を示す指標で、病床が有効に利用されているかを判断します。	70.9	70.3	72.0
8	平均在院日数(一般のみ) 一般病床(回復期除く)に対する入院患者の在院日数の平均を示す日数で、病床が有効に利用されているかを判断します。	13.8	15.9	13.5
9	職員給与比率 病院の職員数が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。 *注意点として、令和2年度集計より短時間勤務者や派遣職員の給与費が含まれている。	60.5	44.8	63.2
10	材料費比率 病院の材料費(薬品費、診療材料費、医療消耗備品費、給食材料費)が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。	26.7	22.6	25.3

*黒字病院とは：総務省実施の決算統計対象病院のうち医業利益がある病院(865病院中105病院)